



れうるであろう。もちろん、こうした自己確認・強化・変容は出力変数にもなりうる。出力変数とは「巡礼行動が巡礼者に何をもたらしたのか?」、巡礼行動の残効効果である。筆者の興味の主眼は、個人レベルにあるが、文化的な背景変数を無視することはできない。世界中の現存する巡礼行動の類似点と相違点を明らかにすることで、巡礼行動の次元を解明することも必要な作業である。

本研究は、関西学院大学共同研究の助成を受けて実施されたものである。

引用文献

有本紀明 1983 スペイン・聖と俗 日本放送出版協会  
 パウロ・コエーリョ 山川紘矢・山川亜希子(訳) 1998 星の巡礼 角川書店 (Paulo Coelho 1987 O Diario de un Mago Editora Rocco Ltd.)  
 Compostela 1997 Revista de Archicofradia del Apostol Santiago, Numero11, Enero.  
 黒川紀章 1969 ホモ・モーベンス 中央公論社  
 Maslow, A. H. 1943 A theory of human motivation. Psychological Review, 50, 370-396.  
 デイヴィット・ロッジ 高儀 進(訳) 1997 恋愛療法 白水社 (Lodge, D. 1995 Therapy Curtis Brown Group Ltd.)  
 山折哲雄・杉山二郎・大澤真幸・青木 保・井本英一・赤坂憲雄・村井康彦・篠田雄治郎・西山克・本間瀬精三・鎌田茂雄・田中優子 1991 巡礼の構図 NTT 出版